

オーストラリアの多様性を認めるちから ～LGBTQI の祭典「マルディグラ」から～

シドニー事務所

1. シドニー・ゲイアンドレズビアン・マルディグラ

シドニーで毎年恒例の LGBTQI（レズビアン、ゲイ、バイセクシュアルなどの総称）のフェスティバルが開催され、3月7日（土）にそのメインイベントであるパレードが行われました。きらびやかな衣装とポップな音楽で彩られたパレードに、世界中から集まった20万人を超える人々が魅了されました。



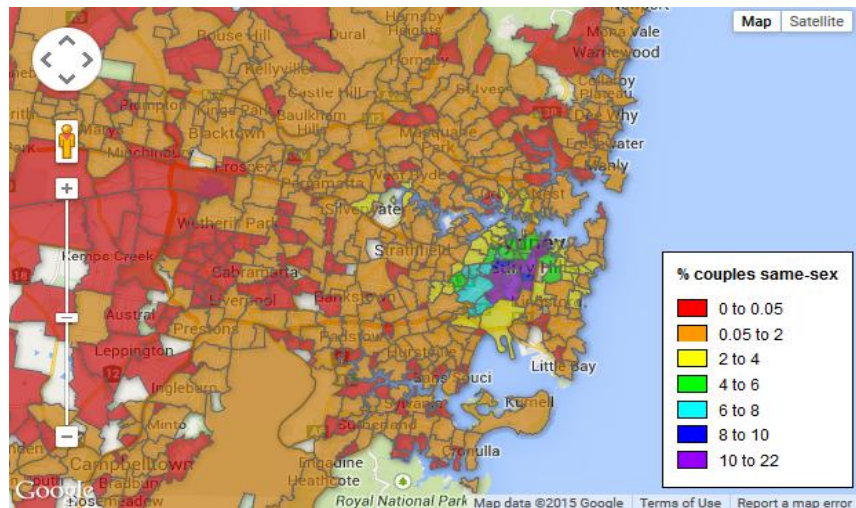
アスリートもパレードに参加「フィールドに平等を！」
出典：The Australian 紙ウェブサイト

このイベント趣旨は「多様性の力と美しさを祝い、愛し合う世界をつくる」というものです。パレードでは「多様性を応援しよう」「平等な世界を」といったメッセージが多く見られました。

2. 多様な街シドニー

これまで「オーストラリアの多様性」を紹介するとき、様々な民族が住む言語的・文化的な多様性を用いてきました。シドニーでは237の言語が話され、3人に1人は家庭で英語を使いません。でも言語的・文化的な多様性だけではなく、LGBTQI に対する多様性も受け入れる雰囲気があり、街の成熟性や寛容性を感じることができます。

マルディグラ・パレードではシドニー市長



同性カップルの割合を示すシドニーの地図

出典：The Sydney Morning Herald 紙ウェブサイト

を筆頭としたシドニー市役所、ニューサウスウェールズ（NSW）州警察や消防、そして軍隊も参加し、このような行政組織が多様性を受け入れる姿勢であることを市民にPRしました。



ツイッターでマルディグラを応援（左：クローバームーア市長、右：NSW 州警察）

マルディグラの歴史は 37 年前に遡ります。1978 年の冬に始まった際は警察との対立もあり、逮捕者が出る事態となりました。その後、公道で行進をする際の手続きの簡素化や実施時期の変更（夏に行われることとなった）、メディアによる発信、市民の関心の高まりなど様々な要素が加わり、シドニーを代表するイベントの 1 つとなったのです。それとともに、LGBTQI に対する偏見の払拭や理解の深まりを奨励する一助となっていました。

3. LGBTQI による経済効果

多様性は、他との違いを受け入れる寛容性や、多角的・多面的な考え方による新たな価値観や柔軟性などが生み出され、組織のパフォーマンスの向上につながると言われています。組織とは企業、団体のみならず、様々な共同体で同様のことが言えるでしょう。

それだけではなく、最近は「LGBT 市場」などと言われ、観光市場のターゲットとなっています。日本政府観光局（JNTO）でもそうした人々を日本へ誘客するための専用ウェブサイトが作られ、「LGBT フレンドリー」なホテルの紹介や東京のゲイバーの多さなどを売り込む記事が掲載されているほどです。著者自身、マルディグラ・パレードではアメリカから来た方、メルボルンから来た方に遭遇し、その集客能力の高さを実感しただけでなく、お金を勢いよく使う姿にも驚いたところでした。

少数派を異質な者と捉え排除しようとする凝り固まった先入観は、ここオーストラリアではほとんど感じられません。LGBTQI の人々を魅了する多様性のある街づくりに今後も注目です。

（平澤所長補佐 広島県派遣）